

令和4年度高知県高等学校体育大会

アーチェリー専門部新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン

本専門部の主管大会における新型コロナウイルス感染対策を下記の通り定める。

1 全般的な事項

- ①実施専門部は、感染防止のために実施すべき事項や参加者が厳守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示すること。
- ②実施専門部は各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること。
- ③参加校の競技登録生徒及び帯同部員と監督・コーチ等、補助役員生徒と引率者（以下「大会参加者」という）は、【様式1-①②】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈教員・指導者・生徒〉を各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックし、【様式2】高体連主催大会における健康チェックシート参加校提出用紙を大会参加期間中は学校ごとに毎日、実施専門部へ提出すること。万が一感染者が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、【様式1-①②】の原本について、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。
- ④大会役員等は【様式1-③】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈個人〉を大会終了日までチェックし、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。また、チェック期間に体調不良等が生じた場合には競技担当者へ連絡を取り参加の可否について確認すること。
- ⑤実施専門部は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報に十分注意しながら、大会参加者から提出された【様式2】の原本について、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。
- ⑥参加者に陽性者が確認された場合には、保健所や医療機関の指示に従うこと。
- ⑦参加者は、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、実施専門部に対して速やかに報告すること。実施専門部は報告を受けた場合には、関係機関の求めに応じて対応すること。
- ⑧取材を希望する団体は【様式1-④】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈取材団体等〉をダウンロードし、各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックすること。大会当日は各競技受付へ【様式1-④】提示し、参加者名簿へ必要事項を記入したのち入場すること。

【様式取扱一覧】

〔高知県高等学校体育連盟 HP <http://www.kochinet.ed.jp/kochi-htaiiku/>〕より DR 可

様式	作成者	内容	保存場所	保存期間
【様式 1-①②】	参加校	・2週間体調チェックし作成。 ・専門部の求めがあれば提出。	各校顧問	大会終了後 1 月
【様式1-③】	大会役員 等	・2週間体調チェックし作成。 ・専門部（顧問）の求めがあれば提出。	作成者	
【様式1-④】	取材団体 等	・2週間体調チェックし作成。 ・各会場受付にて提示（用紙は記載者保管） →会場の受付簿へ記載。	作成者	
【様式 2】	参加校	・参加校が大会日毎に専門部へ提出。	専門部	

※【様式 2】は提出がない場合、原則試合への出場が認められないので各校顧問は注意すること。

2 観客の取り扱いについて（図 A 参照）

〔明記すること〕

- ①入場可能な対象者（保護者・家族・無観客等）
- ②人数や時間帯で入れ替え等の制限の工夫
- ③入場の際に観客にお願いすること（マスクの着用等）
- ④入場に係る手続きの流れ（入場時の確認方法等）

図 A

令和 3 年度第 74 回高知県高等学校体育大会に係る観戦について（＊高知県内の感染拡大状況によって延期及び中止する場合がある。）

県の ステージ	学校や観戦者（保護者等）に お願いすること	各競技専門部が行うこと	観戦者の入場の可否について	
			エントリ-外の部活動生徒	保護者等
緊急事態			禁止	禁止
特別警戒				
警戒	【健康確認】 ○観戦希望者は学校（顧問や校内担当教員等）より指定様式1-③を受け取り、観戦予定日2週間前～観戦最終日まで体温・体調等を記録する ↓ ○観戦希望者は様式1-③を観戦最終日より1月保管し、主催者等からの求めに応じて提出できるようにする ↓ ○顧問又は学校担当教員は主管専門部が示した運用方法を確認し（許可証や一覧表等）来場の手続きを進める ○COCOA（アプリ）のインストール ・陽性者が発生した場合、スマホに連絡が来るようになるため、インストールを推奨する ・COCOA（アプリ）のインストールが済まない方、又はスマホをお持ちでない方は、会場で陽性者が発生した場合に、許可証に付随していた観戦予定者申請書をもとに学校から連絡することがある	○入退場ゲートの設置 ・入場者（許可された方）の確認 ・検温（人員配置し検温を行う） ※県のステージが「注意」または「感染観察」の場合、検温は来場者によるセルフ形式でも可 ・消毒液、マスクの準備 ○観戦するエリアを設定する ・大会運営エリアと観戦エリアの区別 ・観戦者の座席数（収容人数）の把握 …等		○観戦者の受入対応が可能な競技は可 ○選手と観戦者とが密にならない会場は可 【具体】 ・屋外会場でも試合場と観客席が一定以上の距離が取れる場合…等 ※状況によって入場できる観客数を制限する場合がある
	注意	○入場時の検温 ○入退場時の手指消毒 ○マスク着用 ○大声での声援は禁止 ○応援する選手・チームの試合が終わりしだい、会場を退出すること（会場内を最少人数に止める） ○会場内での飲食は禁止 ○一般生徒の観戦が認められた競技会場で観戦する場合は、生徒であることが分かるよう制服で観戦する …等	○会場内の管理 ・観戦者が密にならないようアナウンス等、適宜注意を促す ・観戦方法の周知徹底（大声での声援禁止等） ・収容人数の調整 …等	○高体連及び各競技団体が示す感染防止対策基本方針およびガイドラインに基づいて、2週間の検温などを行い体調の不良が無いことを確認したうえで入場することができる
感染観察				

（イベントの開催制限）
高知県対策本部会議
人数上限→会場収容定員の50%以内
（R3.4月まで）

（一般生徒および一般観客の観戦について）
新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、安心・安全な大会運営を第一に検討を重ねた結果、本年度高知県高等学校体育大会においては、保護者等のみの観戦受け入れとする。

（イベントの開催制限）
高知県対策本部会議
人数上限→会場収容定員の50%以内
（R3.4月末まで）

（一般生徒および一般観客の観戦について）
新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、安心・安全な大会運営を第一に検討を重ねた結果、本年度高知県高等学校体育大会においては、保護者等のみの観戦受け入れとする。

⑤入場制限を行う区域や動線等（図示すること 図 B 参照）

図 B

アーチェリー競技会場：春野総合運動公園アーチェリー場



【説明】

- ①赤線で示しているスペースは立ち入り制限スペースです。許可書が無いと入場できません。
- ②各校顧問より許可書が発行された保護者（家族）の方々は、会場西側出入口の受付にて許可書を提示し、検温後入場することができます。
- ③観戦場所はコーンにて仕切りをしています。その範囲内での観戦をお願いします。

3 競技運営上の感染対策留意事項

競技特性に応じた事項

- ・感染防止のために主催者が決めたお願いや措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ・主催者が定めた各大会の参加規程に従い申請された監督・コーチのみ競技場への立ち入りを許可する。
- ・入場が許可される審判員・役員・監督・コーチはマスクを着装して進行する。
- ・会場内にアルコール消毒を設置する。
- ・可能な限り選手・監督・コーチ・役員・報道関係者は、入場する前に検温を行う。
- ・37.5 度以上の方の入場はお断りする。
- ・大会プログラムを作成して参加選手と所属を確認する。
- ・受付の簡素化を行う。なるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。
 - ・選手も支障のない範囲でマスクの着装をお願いする。矢取・控え所での待機時でのお願いとする。
- ・無観客とする。
- ・会場内での会話をできるだけ避け、大声はご遠慮するよう要請する。
- ・選手間のスペースを 1m以上確保する。例：6mピッチに 2 名から 6 名。
- ・控え場所での間隔は 1m以上空間を確保するようお願いする。待機場所では濃密にならない指導とお願い。
- ・監督・コーチは指定されるウェイトングラインを指導ポジションとする。
- ・握手やハイタッチは禁止する。

- ・スコアカードの回収は直接選手より受け取らない。回収ボックス等を準備して対応する。
- ・マスコミ各社には規制線を設けて、選手との接触を極力避ける対策をする。指定されたエリア内で撮影・取材をお願いする。
- ・選手へのインタビュー・個別取材等は競技終了後のみとする。
- ・1m以上開けての取材で、マスクの着用をお願いする。
- ・終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

《本大会時の対応》

(1) 会場・・・会場全般を通じて、参加者同士が密接な状態にならないようにする。

- ① 会場は、入口を限定するようにして、参加者の入場確認をする。
- ② 入口に消毒液を置き、入場時等には必ず手指の消毒をする。
- ③ 競技場は、レーン幅や選手間の間隔を確保し、密にならないような対策を講じる。
- ④ シューティングライン上で1mの間隔を確保できるように、標的配置を決定する。
- ⑤ 選手、役員とも、椅子やテーブルの数量と設置場所を指定し、選手間の間隔を確保する。

(2) 用具検査

- ① 用具検査の担当審判員は、マスク（フェイスシールド）と着用する。
- ② 参加者は、マスクを着用し、他の競技者と距離を保つ。
- ③ 検査については、選手が用具を保持し、審判員が目視検査を行う。

(3) 開会式・閉会式・表彰式

- ① 表彰は成績発表のみとし、入賞者への賞状・賞品の授与は終了後、受付にて配布する。

(4) 競技中

- ① 選手、監督・引率、競技役員、メディア関係者等は、適切な距離を意識し、安全な距離を確保する。
- ② 選手は、行射中以外、マスクを着用する。
- ③ 監督・引率、競技役員、メディア関係者等については、常時マスクを着用する。
- ④ 採点中も、選手同士は適切な距離を確保するように意識し、安全な距離を確保する。
- ⑤ 競技中のスコアカード管理はそれぞれ選手が行う。
- ⑥ 審判員が矢の判定で呼ばれたときは、選手を標的から遠ざけて、安全な距離を確保する。

(5) その他

- ① 参加者は感染防止のために主催者が決めた措置や指示に従う。
- ② 大会終了後2週間以内に、本人・家族が新型コロナウイルス感染症を発症した場合、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無などについて報告する。
- ③ 大会終了後の帰路などについても、3密を避ける等の感染防止に努める。
- ④ 大会期間中、参加者に陽性者が判明した場合、関係諸機関の指示を仰ぎ、主催者が大会の中止を判断する場合もある。